

秋田県における自殺の実態 (暫定値)

秋田県警察本部
生活安全企画課

- 1 平成26年中の自殺者数は277人で、前年より20人(6.7%)減少しました。
- 2 年代別では、50歳代が54人(19.5%)で最も多く、次いで70歳代が50人(18.1%)と続いています。
- 3 65歳以上の高齢者は117人(42.0%)となり、前年と比較して16人減少となっています。
- 4 男女別では、男性が193人、女性が84人となっています。
- 5 原因・動機別では、健康問題が121件(37.2%)で最も多く、次いで経済・生活問題が50件(15.4%)、家庭問題が27件(8.3%)と続いています。
- 6 職業別では、無職者(学生・生徒を含む)が177人(63.9%)で最も多く、次いで会社員等の被雇用者が70人(25.3%)、自営業・家族従事者30人(10.8%)となっています。
- 7 月別では、最多が10月の35人で、最少は2月の14人となっています。

※ 平成19年に警察自殺統計の集計要領が改正され、遺書等で自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、1人につき3つまで計上することができることとなったため、原因・動機別数と自殺者数とは一致しません。

※ 職業別の学生・生徒については、大学生、専修学校生等(予備校生・専門学校生等)も含まれます。

平成26年中における自殺者の実態について

1 概要

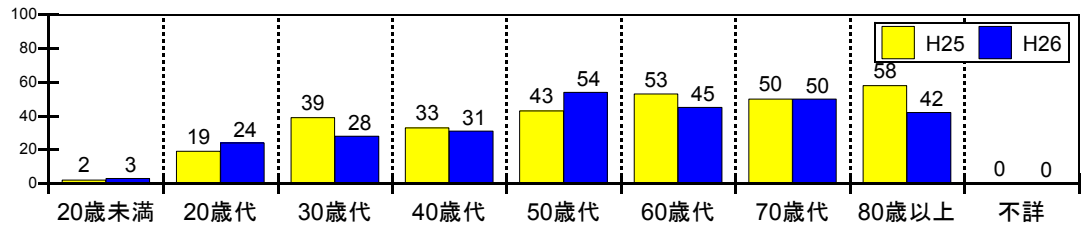
平成26年中の県内における自殺者は277人で、前年比で20人(6.7%)減少した。このうち高齢者(65歳以上)は117人で、全体の42.2%を占めており、前年比で16人減少している。

年 別	平成25年	平成26年	増 減
自殺者数	297人	277人	△20人(△6.7%)

2 特徴等

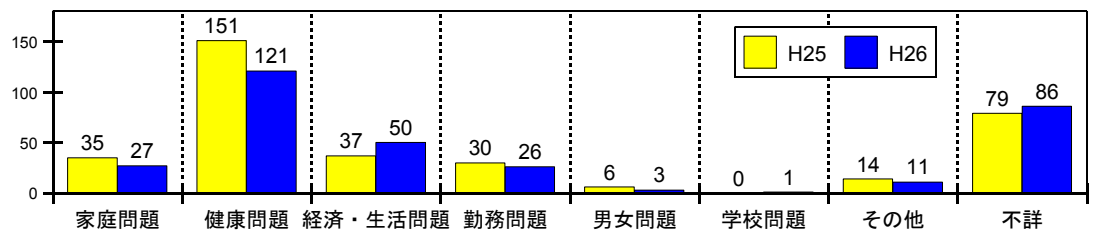
(1) 年齢別

50歳代が54人(19.5%)で最も多く、次いで70歳代が50人(18.1%)である。



(2) 原因別

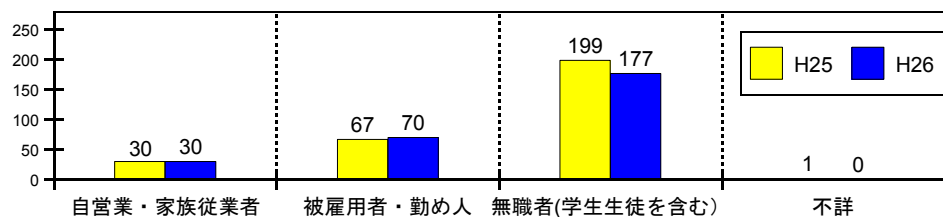
健康問題が121件(37.2%)で最も多く、次いで経済・生活問題が50件(15.4%)、家庭問題が27件(8.3%)である。



※ 原因・動機別については、複数計上のため自殺者数とは一致しない。

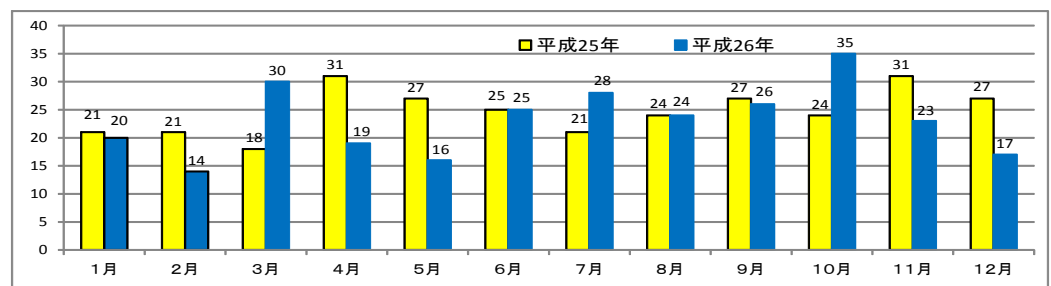
(3) 職業別

無職者(学生生徒を含む)が177人(63.9%)で最も多く、次いで被雇用者が70人(25.3%)、自営業・家族従業者が30人(10.8%)である。

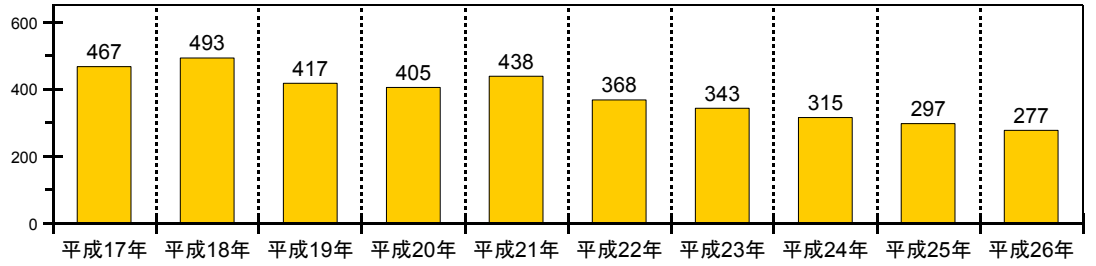


(4) 月別

最多が10月の35人で、最少は2月の14人となっている。



(5) 過去10年間の自殺者数



	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
自殺者数	467	493	417	405	438	368	343	315	297	277
前年日	△27	26	△76	△12	33	△70	△25	△28	△18	△20

(6) 各警察署取扱件数

由利本荘警察署が33人で最も多く、次いで秋田中央警察署と大仙警察署が30人、秋田臨港警察署が27人である。

